丹波「学校を核とした地域づくり」プロジェクトのふりかえり

特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構

蔦木伸一郎（社会教育士）

自己紹介

蔦木　伸一郎(つたき　しんいちろう)

NPO法人丹波ひとまち支援機構／丹波市市民活動支援センタースタッフ
たんば社会教育士コミュニティ　代表

山梨県出身／2022年4月に丹波市に移住
2022年3月から社会教育士として活動
2023年7月から島根大学社会教育主事講習で“まなびなおし”
2024年1月から「たんば社会教育士コミュニティ」の活動開始

前職は図書館長・公民館長として新施設の準備・運営を経験／司書資格保有者
・学びを通じた 「人づくり、つながりづくり、地域づくり」の支援に取り組んでいる。

丹波市生涯学習基本計画審議会副委員長／ 丹波市社会教育委員 ／
丹波市立図書館協議会委員　／図書館のあり方策定審議会コアメンバー
丹波市教育振興基本計画審議会委員

たんえん
丹波ひとまち支援機構

丹波市市民活動支援センター
TAMBA CITY CIVIL AND COMMUNITY ACTIVITIES CENTER

まなぶ つながる つくる
たんば社会教育士
コミュニティ

特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構のミッション

たんばから ひととまちを 支援する

地域課題はたくさんありながら、その担い手や財源は減る一方です。
しかし、自らが住むまちを、自らの手で見直したり、つくり上げていくことは、
やりがいや楽しみでもあります。

これからも地域社会で豊かに暮らしていくためには、これまでの仕組みの
あり方を見つめ、住んでいる皆さんの形にしていくことが大切です。

たんえんでは、**丹波市を拠点に、人と人を繋ぎ、まちを前向きに考えていける、**
変えていける仕組みづくりに挑戦します。

地域運営組織や市民活動団体への支援、生涯学習の推進を通じ、持続可能なまちづくりにむけた地域自治の再興と市民意識の醸成に挑戦するため「丹波ひとまち支援機構」2020年10月に設立しました。

たんえん
丹波ひとまち支援機構

たんえん
丹波ひとまち支援機構

丹波 「学校を核とした地域づくり」プロジェクトの概要

地域と学校の連携・協働（学校を核とした地域づくり）の推進を通して、
「子どもも大人も学び合い、育ち合う、誰もが楽しく参画できる地域づくり」
を目指す。2022年度スタートし、今年度が**3年目**のプロジェクト。

〇1年目・2年目の取り組み

①人材育成

「学校を核とした地域づくり講座」、「関係者のための交流会」の開催

②調査研究

・CSと地域学校協働活動の一体的な取り組みに関するアンケート調査（全小中学校）
・地域学校協働活動推進員に対するヒアリング調査（聞き取り調査）

③行政への政策提言

たんえん
丹波ひとまち支援機構

1年目（2022年度）

「学校を核とした地域づくり」を応援する
まなびの里プロジェクト
交流会

丹波市では、平成29年4月からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、「地域とともにある学校」づくりに取り組んでいます。プロジェクトのキックオフとなる本交流会では、これまでの取り組みを踏まえながら、子どもも大人も学び合い育ち合う「学校を核とした地域づくり」（地域学校協働活動）のあり方について考えながら、地域と学校の連携・協働に取り組まれている方々の情報共有・ネットワークづくりを目指す場として開催します。

今回のテーマ
「地域と学校の連携・協働の これまで と これから」

①地域学校協働活動の実践発表
「地域と学校の連携・協働の これまで と これから ～南小学校の実践から～」（予定）
丹波市立南小学校 校長 薮内 大介さん
学校運営協議会会長 打田 哲夫さん
地域学校協働活動推進員 松本 佳則さん

②グループ交流
実践発表を受けた感想、テーマについての情報や意見交換などグループで交流。

③まなびの里プロジェクトの概要説明
これからのプロジェクトの予定（学校を核とした地域づくり講座）について

日時 2022年7月24日（日） 14時00分～16時00分ごろ
会場 丹波市市民プラザ会議室・フロア
対象 丹波市内の小学校の地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・学校支援コーディネーター
定員 20名
申込 申込フォーム（QRコード）又は下記の問い合わせ先にご連絡ください。

まなびの里プロジェクトとは
学びの生かした里づくりによって、市民が主体の豊かな地域力の向上を目指す丹波市において、地域づくりと人づくりの好循環を目指す地域学校協働活動の推進のために本プロジェクトを展開していきます。今年度は、本交流会をプロジェクトのキックオフとし、「子どもと大人と共に地域を考える学び」をテーマに、地域と学校の連携・協働のあり方について考え、学んでいきます。

学校を核とした地域づくり講座（予定）
「地域と学校の連携・協働」について学び合う講座を3つのテーマで開催いたします。
9月 ＜講座①＞「地域と学校の連携・協働によりもたらされる効果」
10月 ＜講座②＞「人づくり、地域づくりのための地域学校協働活動」
11月 ＜講座③＞「"楽しく"連携・協働していくためのコツ」

主催 NPO法人丹波ひとまち支援機構（たんえん） 後援 丹波市教育委員会
連携・協力 丹波市市民活動支援センター／丹波市立南小学校学校運営協議会

問合先 NPO法人丹波ひとまち支援機構（たんえん） office@tam-en.org
電話の場合は、丹波市市民活動支援センター 0795-82-8683（月曜休）

「学校を核とした地域づくり」を応援する まなびの里プロジェクト
学校を核とした 地域づくり講座

子どもも大人も学び合い育ち合う地域
人づくり つながりづくり
学校が地域の学びと活動の拠点になる!?

第1回 9月10日（土） 14:00 - 16:00
講師：岸 裕司氏
（秋津コミュニティ顧問／CSマイスター）
テーマ：「地域と学校の連携・協働によりもたらされる効果」
＃学校を地域の拠点に ＃スクール・コミュニティ
＃学校づくり・まち育て・人育ち

第2回 10月15日（土） 14:00 - 16:00
講師：福田 範史氏
（鳥取県南部町教育長／CSマイスター）
テーマ：「人づくり、地域づくりのための地域と学校の協働」
＃まちづくりと地域協働学校 ＃青年団の復活
＃地域・保護者・保小中の協働体制づくり

第3回 11月12日（土） 14:00 - 16:00
講師：西川 正氏
（コミュニティワーカー／NPO法人ハンズオン埼玉理事／真庭市中央図書館館長）
テーマ：「"楽しく"連携・協働していくためのコツ」
＃遊びと学びの場づくり ＃何かをしてみよう
＃誰かと一緒につくる ＃楽しさ・おもしろさ

場所 丹波市市民プラザ会議室
参加費 500円／回 定員 20名
申込 下記の申込フォーム（QRコード）又は問い合わせ先にご連絡ください。

まなびの里プロジェクトとは
丹波市では、2017年からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、「地域とともにある学校」づくりに取り組んでいます。この講座では、これまでの取り組みを踏まえながら、子どもも大人も学び合い育ち合う「学校を核とした地域づくり」（地域学校協働活動）のあり方について考え、学んでいきます。

主催 NPO法人丹波ひとまち支援機構
連携 丹波市市民活動支援センター
後援 丹波市教育委員会（申請中）

問合先 NPO法人丹波ひとまち支援機構（たんえん） office@tam-en.org
電話の場合は、丹波市市民活動支援センター 0795-82-8683（月曜休）

「学校を核とした地域づくり」を応援する
まなびの里プロジェクト
ふりかえり交流会

子ども大人も学び合い育ち合う「学校を核とした地域づくり」（地域学校協働活動）のあり方について、今年度のプロジェクトをふりかえり、地域と学校の連携・協働に取り組む学校、地域、市民、行政の実践報告と意見交換を行う交流会を開催します。

全体テーマ
「子ども大人も、学び合い、育ち合う地域になるために」

1.趣旨説明
「まなびの里プロジェクトの今年度のふりかえり」
▶NPO法人丹波ひとまち支援機構

2.「学び合い育ち合う」をテーマとした活動紹介
①学校／地域
「ぬぬぎの学びづくり、ひとづくり、地域づくり」
▶丹波市立南小学校・学校運営協議会
「学校図書室のリノベーションとコミスクだよりによる広報活動」
▶丹波市立西小学校 地域学校協働活動推進員

②市民
「地域学校協働活動における大人の学び」
▶丹波市社会教育委員

③行政
「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進に向けた取り組み」
▶丹波市教育委員会 教育部
「知識循環型生涯学習による持続可能なまちづくりの実現に向けた取り組み」
▶丹波市まちづくり部

3.グループ交流
活動紹介の感想、テーマについての意見交換などグループで交流

日時 2023年2月19日（日）
13時30分～16時00分ごろ
会場 丹波市立南小学校 ランチルーム
対象 まなびの里プロジェクトに参加された方・地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・社会教育委員・教職員・行政職員・関心のある方
申込 申込フォーム（QRコード）又は下記の問い合わせ先にご連絡ください。
定員 30名

まなびの里プロジェクトとは
学びの生かした里づくりによって、市民が主体の豊かな地域力の向上を目指す丹波市において、地域づくりと人づくりの好循環を目指す地域学校協働活動の推進のために本プロジェクトを展開しています。今年度は「子どもと大人と共に地域を考える学び」をテーマに、地域と学校の連携・協働のあり方について考え、学んできました。

主催 NPO法人丹波ひとまち支援機構
後援 丹波市教育委員会（申請中）
連携・協力 丹波市市民活動支援センター／丹波市立南小学校学校運営協議会／丹波市教育委員会／丹波市まちづくり部

問合先 NPO法人丹波ひとまち支援機構（たんえん） office@tam-en.org
電話の場合は、丹波市市民活動支援センター 0795-82-8683（月曜休）

2年目（2023年度）

丹波市の
コミュニティ・スクールと
地域学校協働活動の
一体的な取り組みに関する
アンケート調査報告（2023年度）

1年目(2022年度)の成果

令和5年度丹波市の教育(実施計画の重点施策)に
「学校を核とした地域づくり」が反映された。

関係部署(教育委員会・市民活課)との連携が深まった。

5．コミュニティ・スクールの深化・充実

①「丹波市ＣＳフォーラム・連絡会」による各校実践の深化・充実
②地域学校協働活動推進員のコーディネートによる地域の将来を担う人材の育成、地域住民のつながりを深める「学校を核とした地域づくり」の推進
③市民が主体的に学んだ学習の成果を「学校を核とした地域づくり」や「地域学校協働活動」にいかす

たんえん 丹波ひとまち支援機構

2年目(2023年度)の成果

・アンケート調査やヒアリング調査により、
地域学校協働活動推進員の現状や課題、小中学校の意識を把握できた

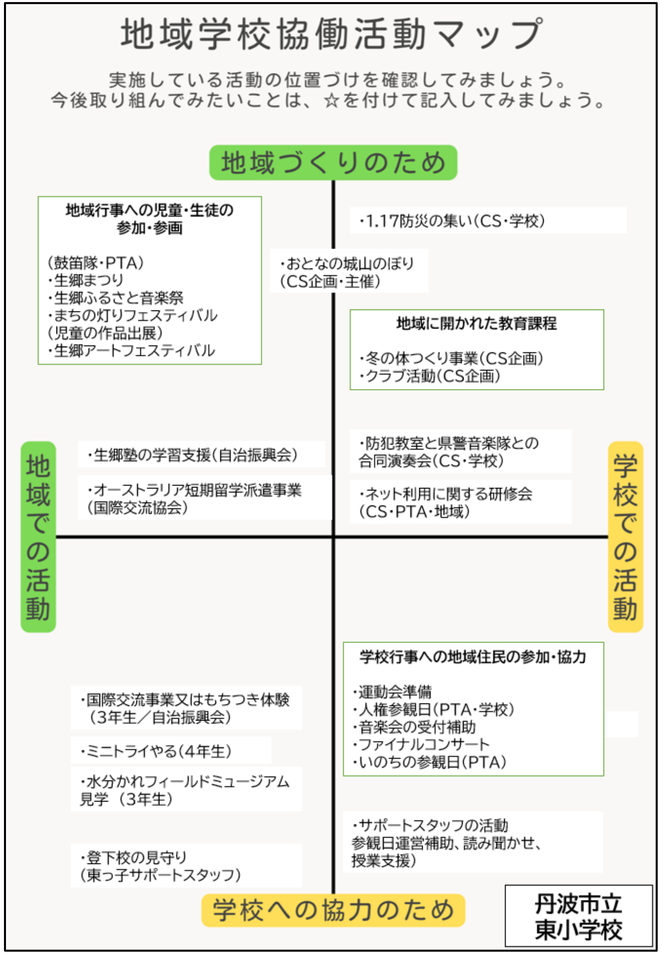
・2024年度から、丹波市教育委員会 主催によるコミュニティ・スクールや地域学校協働活動に関わるコーディネート人材育成事業(全4回)がスタート

3年目(2024年度)の取り組み

①**調査研究**
地域学校協働活動マップの現状把握ツール開発とモデルマップの作成(モデル校3校)

②**学び・交流**
「地域づくりはひとづくり」
たんば地域教育フォーラムの開催

③**連携・協力**
人材育成事業の開発や
「丹波市版地域学校協働活動ハンドブック」の
作成に向けた行政との連携・協力



丹波 「学校を核とした地域づくり」プロジェクトの概要

取り組みの詳細はたんえんのウェブページに掲載しています！
配布している報告資料は、後日掲載予定です。

丹波「学校を核とした地域づくり」プロジェクト

で検索してみてください。

プロジェクトを通して見えてきた課題

- 地域学校協働活動推進員の全校配置が進まない
  現状：13名　／　未配置：小学校9校　　中学校4校

- 地域におけるひとづくりを推進する人材の発掘・育成が必要
  社会教育士や地域学校協働活動推進員の育成・養成

- 行政の横断連携が必要
  学校教育、社会教育、家庭教育、生涯学習、
  地域づくり部署の横断連携

- 学校教育と社会教育の垣根を超えた
  「地域教育」プラットフォームが必要
  コミスク・図書館・学校・PTA・地域等との
  連携による学び合いの場づくりの創出

「地域づくりはひとづくり」たんば地域教育フォーラムのねらい

たんえん
丹波ひとまち支援機構

今後、人口減少を迎える中で、誰もが安心して暮らし続けることができる地域をつくるためには、「学校を核とした地域づくり」など、地域・学校・行政が連携・協働した取り組みが必要となっています。

その取り組みの中で、
子どもから大人までが、学び合い、実践することで、
ゆるやかにつながり、人が育っていきます。

島根県益田市豊川地区における、学校教育と社会教育の連携や、
「対話」を通じたひとづくり、丹波市内の実践事例から学んでいきます。